

# ネーミングライツ・パートナーと 市有施設の魅力向上を目指して

4月1日から5つの市有施設で愛称が使用されます。多くの人々に愛される施設となるよう、ネーミングライツ・パートナーとともに魅力向上に取り組んでいきますので、市民の皆さんもぜひ愛称で親しんでください。(契約期間は5年間)ここでは、パートナー企業について紹介します。(問・総合政策課総合政策係 Tel 83-8102)

## 真岡ハイトラ運動公園 (真岡市総合運動公園)



- ① 栃木ハイトラスト(株) ② 250万円
- ③ 産業廃棄物の焼却処理
- ④ もおか環境パートナーシップ会議のボランティア活動で大久保川周辺の除草作業などに参加し、地域住民の方々と交流しています。



## アオキシントックもおか武道館 (真岡市武道体育館)



- ① 株アオキシントック ② 30万円
- ③ メーカーの部品製作、生産ラインの製品製造
- ④ いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会へ協賛。会場となったサッカー大会の優勝チームへの副賞「サッカーボール20個」を寄贈しました。



- ① パートナー企業
- ② ネーミングライツ料(税込)
- ③ 主な事業内容
- ④ 真岡市との関わり



## コベルコ KOBELCO 真岡いちごホール (真岡市民会館)



- ① 株神戸製鋼所 ② 110万円
- ③ 飲料缶や自動車などに使用されるアルミ製品の製造
- ④ 環境対策を推進するため、小学生向けの工場見学・環境学習会や、OB団体による森林整備などの環境保全活動をしています。



## アース Earthいちごスポーツ交流館 (真岡市スポーツ交流館)



- ① 株アースコーポレーション ② 39万円
- ③ ふるさと納税支援、インターネット販売支援等
- ④ インターネットでのふるさと納税サイトの販売支援や出品者向けの相談会などを本市と連携して行っています。



## オートミライ Auto Mirai 真岡公民館 (真岡市公民館)



- ① 株Aizawa Corporation ② 30万円
- ③ 自動車販売、保険代理店、不動産サービス
- ④ 企業版ふるさと納税を本市へ寄附。市では寄附で携帯通訳機4台を購入し、市内の小中学校で役立てられています。



### 「ネーミングライツ」とは？

市の施設などの名称に、スポンサー企業の社名や商品(ブランド)名を付ける権利(命名権)のことです。1990年代から、アメリカのプロスポーツ施設を中心に急速に拡大。日本でも、施設の運営資金のための有効な手段として注目され、2003年に初めてネーミングライツが行われ、「東京スタジアム」が「味の素スタジアム」に変更されました。



### どんなメリットがあるの？



### 栃木県内の主なネーミングライツ

- ・カンセキスタジアムとちぎ  
【施設】栃木県総合運動公園陸上競技場  
【パートナー企業】株カンセキ
- ・日環アリーナ栃木  
【施設】栃木県総合運動公園東エリア運動施設  
【パートナー企業】株日環
- ・ユウケイ武道館  
【施設】栃木県総合運動公園武道館  
【パートナー企業】株ユウケイ工業